

リニア推進ロードマップ

飯田市

概要

飯田市では、開業に向けた準備を遅滞なく進めていくために「リニア推進ロードマップ」を策定し、「いいだ未来デザイン2028」（飯田市総合計画）や、リニア時代を見据えた国・県の動き・計画・構想等も踏まえ、毎年時点修正を行っています。

「リニア推進ロードマップ」は推進期間をリニア開業翌年までとしており、「リニア本線工事」「リニア駅前広場整備」「リニア関連道路事業」の3つの分野で、令和7年度にどこで何が行われるかを地図や工程表により具体的に示し、より効果的に事業進捗を図るよう取り組むための指針です。なお、昨年は開業時期の延長や飯田市内各工区の工期の延長、それに伴い長野県及び飯田市が各事業の工程の見直しを行い、その結果が公表されました。2025年度版では、2024年度末時点の各事業の工程を掲載いたします。



【1. 飯田市内のリニア本線及び関連事業の工程】 P.1～2

JR東海によるリニア本線工事と、長野県及び飯田市が行っている関連事業の各工程について記載しています。

【2. リニア本線工事】 P.3～8

JR東海によるリニア本線工事と、発生土置き場の進捗状況について記載しています。

【3. リニア駅前広場整備】 P.9～12

飯田市で今後整備を進めていく、リニア駅前広場の整備工事や公民協働の仕組みの構築など、より具体的な検討の方向性について記載しています。

【4. リニア関連道路事業】 P.13～14

長野県・飯田市によるリニア関連道路整備の進捗状況について記載しています。

1. 飯田市内のリニア本線及び関連事業の工程

東海旅客鉄道株式会社(JR東海)より2024年3月、リニア中央新幹線について当初予定されていた2027年の開業は「実現できる状況にはなく、新たな開業時期についても見通すことができない」と発表されました。静岡県内のトンネル掘削に着手後(2025年2月現在は未着手)、開業まで最低10年を要するとされ、開業時期は不透明な状況です。

市内の各工区においても、2024年には工事工程(工事期間)の延長が発表され、それに伴い長野県及び飯田市の各事業についても工事工程の見直しが行われました。そこで、リニアの開業を待たず、飯田市が整備する駅前広場の一部供用開始や長野県においては関連事業の暫定供用や部分完成供用がされていくこととなりました。今後は新たに示された工程に沿って完成に向け、一步一步進めてまいります。



工程表			※工程表スケジュールは現時点(2025年3月)のものであり、変更となる可能性があります。								
事業主体	項目	年度	工事期間	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)以降
JR東海	① 中央アルプストンネル(松川工区)		2031年夏頃	[Progress bar from 2025 to 2031]							
	② 風越山トンネル(黒田工区)		2027年2月	[Progress bar from 2025 to 2027]							
	③ 風越山トンネル(上郷工区)		2028年12月(準備工事)	[Progress bar from 2025 to 2028]							
	④ 駅部区間(土木構造物)		2031年12月	[Progress bar from 2025 to 2031]							
	⑤ 座光寺高架橋区間		2031年3月(R7.3月時点未契約)	[Progress bar from 2025 to 2031]							
	⑥ 天竜川橋りょう		2029年3月	[Progress bar from 2025 to 2029]							
長野県	⑦ 国道153号飯田北改良		2028年3月以降	[Progress bar from 2025 to 2028]							
	⑧ 座光寺上郷道路		2028年3月以降	[Progress bar from 2025 to 2028]							
	⑨ 県道市場桜町線		2028年3月以降	[Progress bar from 2025 to 2028]							
飯田市	⑩ リニア駅前広場		2028年3月以降	[Progress bar from 2025 to 2028]							
	⑪ 座光寺スマートIC接続道路		2028年3月	[Progress bar from 2025 to 2028]							

リニア中央新幹線
開業

2. リニア本線工事



工程表 ※工程表スケジュールは現時点（2025年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	項目	年度	2024(R6)迄	2025(R7)				2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)以降	リニア中央新幹線 開業	
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月									
JR東海	① 中央アルプストンネル（松川工区）			本線トンネル掘削工事(2029(R11)年秋頃まで) ⇒ 覆工・路盤工施工 (2031(R13)年夏頃完了予定)												
	② 風越山トンネル（黒田工区）			非常口トンネル掘削工事				⇒				本線トンネル掘削工事				令和3年3月 工事説明会での提示工程

2. リニア本線工事

⑥天竜川橋りょう

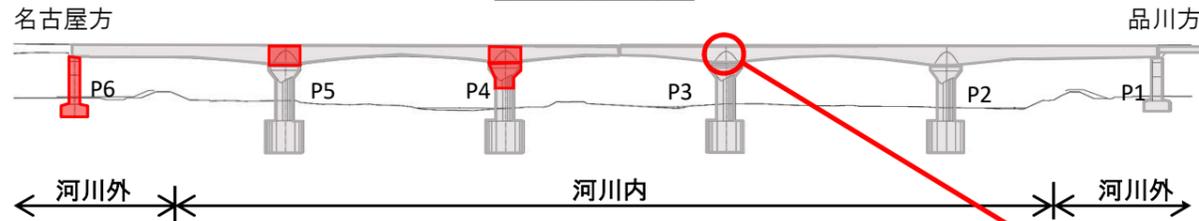
橋木村側から天竜川を越えた所までの橋りょう工事を実施します。

- ・ 工区全長：約0.96km（うち、天竜川橋りょうは全長約0.52km）
- ・ 2025年2月末時点：河川内の橋脚4基中2基が完成、2基を施工中
- ・ 2025年度の主な工事内容：（飯田市側）
飯田市側河川内の2基の橋脚工事とその橋脚箇所の上部工工事（※1）を実施
飯田市側河川外の1基の橋脚工事を実施

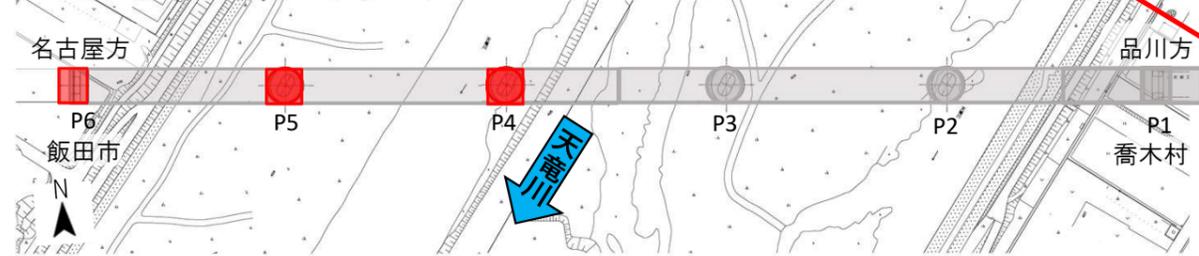


天竜川橋りょう

横から見た構造

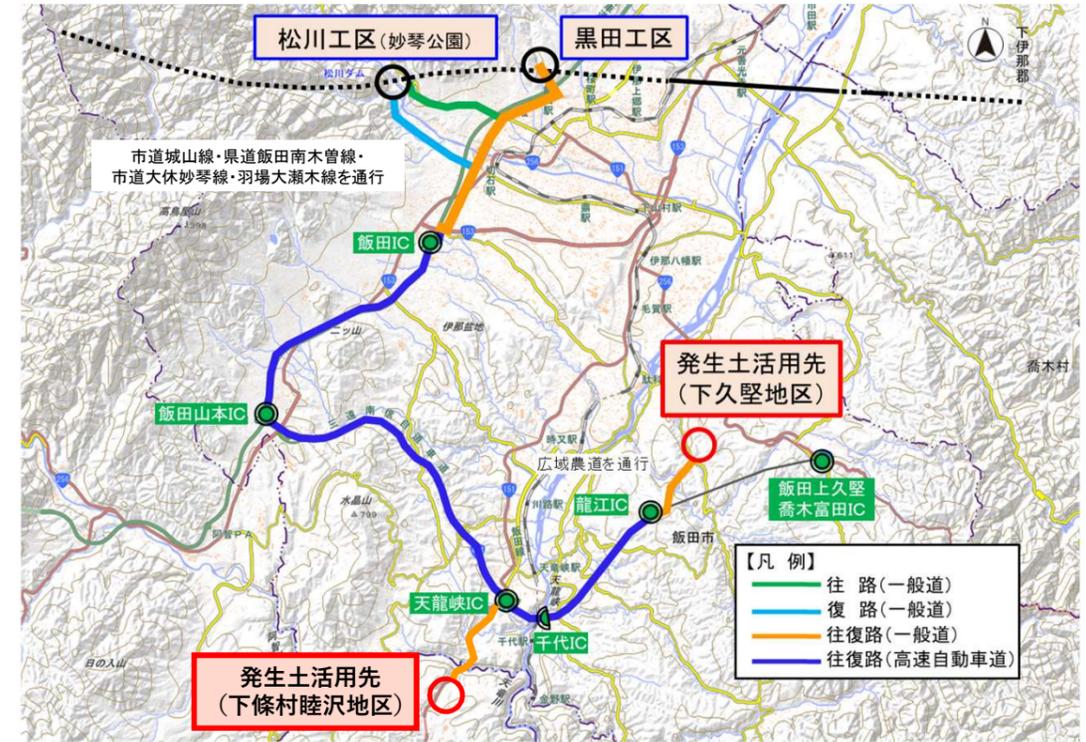


上空から見た構造

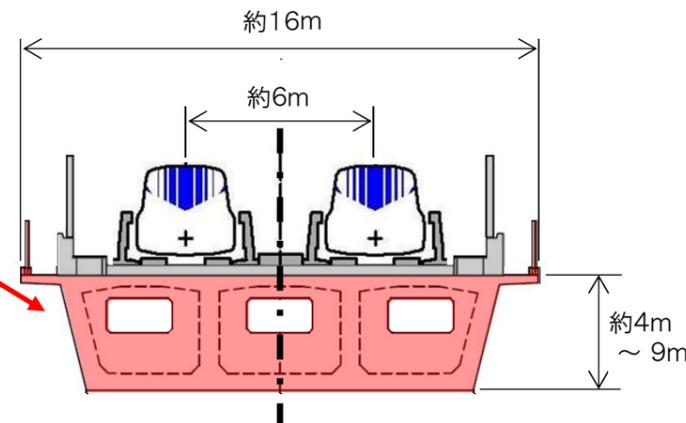


発生土置き場

- ・ トンネル工事及び各工区からの発生土は、各発生土置き場へ運搬し、そこで土地の造成等として活用しています。
- ・ 活用先としては、下久堅地区及び下條村睦沢地区の造成などで発生土を活用しており、また、山本地区内では計画を立て、地域や関係機関と協議を行いながら進めています。
- ・ 下久堅地区への運搬は2025年5月頃完了予定。下條村睦沢地区へは引き続き運搬していきます。



上部工の構造



天竜川橋りょう上部工写真 (P3)

（※1）上部工工事：橋脚間の桁部分を構築する工事であり、リニア車両は桁上面を走行する。

※工程表スケジュールは現時点（2025年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

工程表		※工程表スケジュールは現時点（2025年3月）のものであり、変更となる可能性があります。												
事業主体	項目	年度	2025(R7)				2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)以降	リニア中央新幹線 開業
			2024(R6)迄	4月～6月	7月～9月	10月～12月								
JR東海	⑥ 天竜川橋りょう		本体工事（下部工）2026(R8)年3月完了予定											
							本体工事（上部工）2029(R11)年3月完了予定							

3. リニア駅前広場整備

- ・令和7年度は、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの定期的な開催により、リニア駅前広場の一部供用開始段階での活用や広場内に整備する施設の検討を行います。
- ・リニア駅前広場の運営事業体の組成に向けた設立準備会を形成し、リニア駅前広場の活用と運営の両面から検討を進めてまいります。
- ・プラットフォームの意見を踏まえ、駅前広場の一部供用開始段階での活用方法について、令和7年度中に決定し、お知らせします。

◎令和7年度実施内容

●飯田・リニア駅前広場プラットフォームによる検討

プラットフォームの開催、駅前広場活用方針の検討

●運営事業体の組成に向けた検討

分野別協議・ヒアリング等の実施、運営事業体設立準備会の形成

●広場内の施設等の検討

施設規模や施設に必要な機能の検討、施設整備内容の具体化および決定

●情報発信

駅前広場整備及び広場活用の情報発信



第1回プラットフォームの様子



魅力発信

工程表		※工程表スケジュールは現時点（2025年3月）のものであり、変更となる可能性があります。							
事業主体	項目	年度	2025(R7)				2026(R8)～		
			2024(R6)迄	4月～6月	7月～9月	10月～12月		1月～3月	
飯田市	魅力発信	プラットフォーム	プラットフォーム構築	プラットフォームによる検討・広場活用の検討				2028年度一部供用開始	
		運営事業体組成		分野別協議・ヒアリング等の実施・事業体設立準備会の形成					事業体組成
		施設整備の内容検討	条件整理	施設の機能検討・整備内容の具体化、決定					施設整備
		情報発信		駅前広場整備・広場活用の情報発信					運営事業体による管理・運営、活用検討等

リニア中央新幹線開業

◎飯田・リニア駅前広場プラットフォームの概要

飯田市で整備を進めているリニア駅前広場の活用や運営について、幅広く意見や参加を募ることを目的として「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を令和6年11月に設立しました。「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」では、以下の考え方にに基づき、官民連携による施設整備や活用を進めてまいります。

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

「駅前広場でどう賑わいをつくっていくのか？どう活用していくのか？どのように管理・運営していくのか？」を公民協働で考えていく「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を設立しました。市民・事業者・専門家の方などが自由に参加し、意見を出し合う場です。

プラットフォームでは、「つかう目線」で「事業」や「運営」を考える整備に向けた検討を進めていきます。

また、駅前広場が飯田市や南信州地域全体の経済や観光の好循環を生み出す場所となるよう、「エリアの価値・持続性を高めるための整備」を進めます。

駅前広場の賑わいの創出

地域経済の好循環

まち全体を見るなかで駅前広場が持つべき機能

- この3つの視点を大切に、皆さんからいただいたアイデアをもとに、必要な機能や施設について検討を進めていきます。



※画像はイメージです。

プラットフォームの意見を踏まえ、駅前広場の一部供用開始段階での活用方法を決定していきます。

「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の活動状況や参加方法は、市ウェブサイトをご覧ください。

ID 124049



プラットフォームが目指す駅前広場整備の好循環

観光・経済の好循環を目指します

エリアの価値と持続性の向上

駅前広場の賑わいが飯田市や南信州地域の賑わいへ広がる

施設を使いながら評価しフィードバック

一部供用開始
●賑わい創出施設開業
●イベント開催



リニア駅前広場全体供用開始

駅前広場が賑わう

「つかう目線」で賑わい創出施設検討→整備

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

3. リニア駅前広場整備

- ・令和7年度は、埋蔵文化財発掘調査や駅前広場整備に向けた各種土木工事、植栽計画の策定を予定しています。
- ・建築関係では大屋根の建築に向けた木材調達や、駅前広場内の公共施設(管理棟・トイレ等)の設計を行い、土木・建築の両面から整備を進めてまいります。

◎令和7年度実施内容



●土木・建築関係

- ・埋蔵文化財発掘調査
- ・土曾川横断道路橋梁架設工事
- ・北側調整池整備工事
- ・北側および南側の造成工事
- ・大屋根の木材調達
- ・公共施設の施設内容検討、決定、設計



埋蔵文化財発掘調査

●植栽計画の策定

- ・樹種の選定
- ・3Dシミュレーションを用いた検討



多様な木々を結うイメージ

●景観形成に向けた検討

- ・駅舎や街並のデザイン形成に向けた検討



●利便性の高い交通体系の検討

- ・駐車場システム、カーシェア、レンタカー等の導入に向けた研究

●新たな交通システムの検討

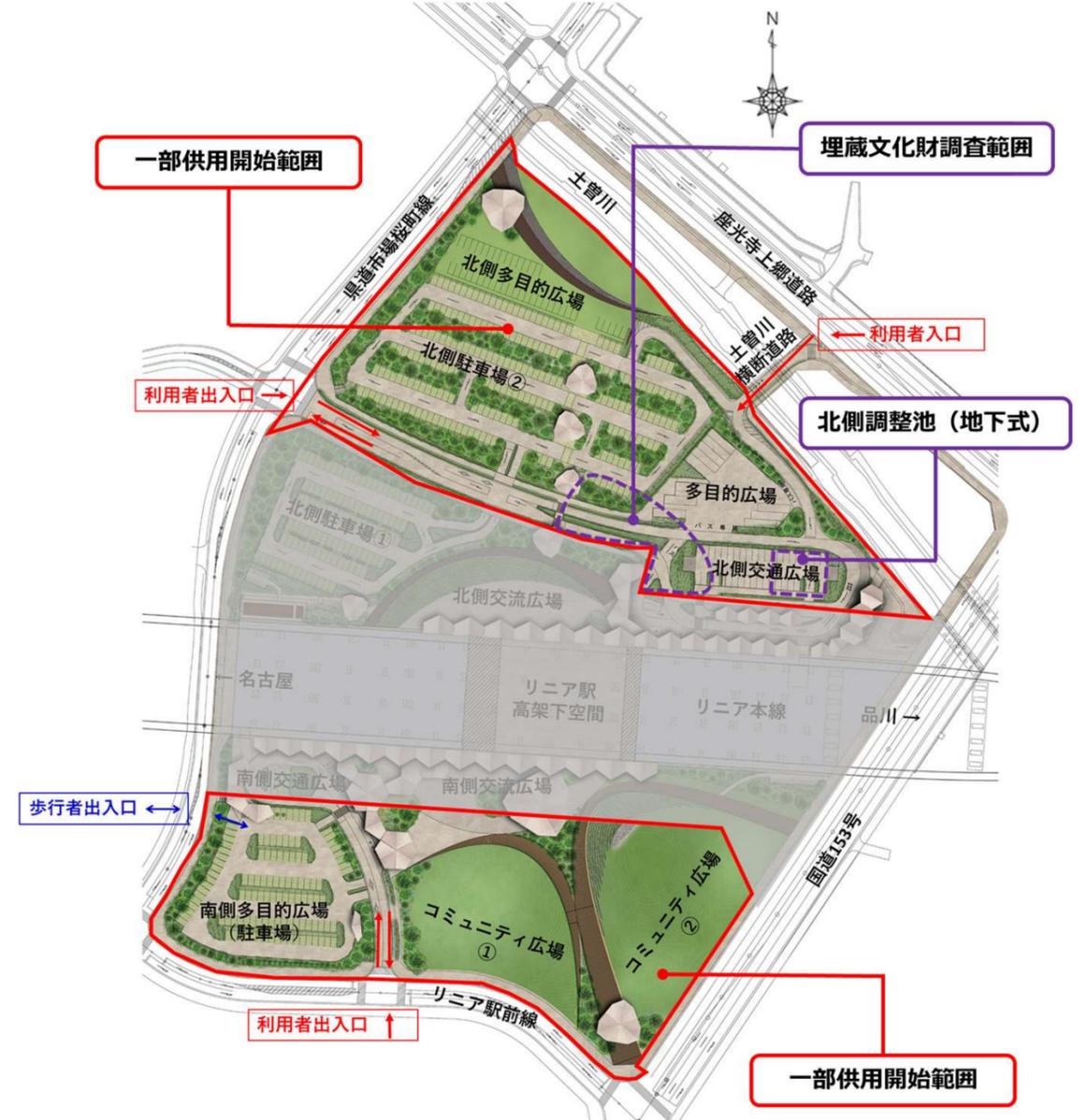
- ・自動運転の実装に向けた研究



提供：信州大学

●再エネ・省エネの検討

- ・再生可能エネルギーの導入方針・手法の検討
- ・グリーン水素・水循環技術の導入方針・手法の検討



※一部供用開始範囲の完成図はイメージです。

工程表		※工程表スケジュールは現時点(2025年3月)のものであり、変更となる可能性があります。						
事業主体	項目	年度	2025(R7)					2026(R8)~
			2024(R6)迄	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	
飯田市	駅前広場整備	用地取得	用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					2028年度一部供用開始
		土木関係	埋蔵文化財発掘調査					
			土曾川横断道路橋梁架設工事					
			北側調整池整備工事					
		北側・南側造成工事						
		グリーンインフラ	緑化駐車場や南側調整池の土木工事					
	交通エネルギー	建築関係	大屋根実施設計	木材調達			建築工事	
		公共施設の条件整理	施設内容検討・決定・設計			建築工事		
		景観形成	環境・景観配慮指針(案)協議					
		環境・景観配慮指針運用						
交通体系	駐車場システム、カーシェア、レンタカー等の導入に向けた研究							
新交通システム	自動運転の実装に向けた研究							
再エネ・省エネ	リニア開業に向けた再生可能エネルギーの導入方針・導入手法の検討							
グリーン水素・水循環技術の駅前広場整備への導入方針の検討								

リニア中央新幹線 開業

4. リニア関連道路事業

座光寺スマートIC接続道路

座光寺スマートICと座光寺上郷道路を結ぶ道路の整備を実施します。

- ・事業延長：約0.6km（本線約0.3km）
- ・2025年度の主な工事内容：道路の新設工事の実施

県道市場桜町線

中心市街地とリニア駅を結ぶ道路の整備を実施します。

- ・事業延長：約1.4km
- ・2025年度の主な工事内容：道路の拡幅工事の実施
橋りょう下部工工事(※1)の実施



座光寺上郷道路

リニア駅と座光寺スマートICを結ぶ道路の整備を実施します。

- ・事業延長：約3.2km
- ・2025年度の主な工事内容：JR飯田線の下を通る道路新設工事の実施（アンダーパス工事）
柵ヶ洞川等の函渠工事(※2)の実施
市道の付替え工事を含めた道路の新設工事の実施

国道153号 飯田北改良

高屋交差点から座光寺交差点までの国道153号の道路の整備を実施します。

- ・事業延長：約2.6km
- ・2025年度の主な工事内容：飯沼交差点から北条交差点周辺の道路の拡幅工事の実施
橋りょうの下部工工事(※1)の実施
座光寺交差点付近で道路を横断するための横断歩道橋工事の実施

(※1) 下部工工事：橋りょうの土台となる橋台及び橋脚を構築する工事

(※2) 函渠工事：横断面が四角形のトンネル河川を構築する工事

工程表

※工程表スケジュールは現時点（2025年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	項目	年度	2025(R7)					2026(R8)～	リニア中央新幹線開業
			2024(R6)迄	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月		
長野県	国道153号飯田北改良（南側） 高屋交差点～北条交差点付近		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					2028年3月までに暫定及び部分完成供用	
			高屋交差点～南条交差点 埋文調査						
			道路築造工事						
	国道153号飯田北改良（駅周） 北条交差点付近～座光寺上郷道路		飯沼交差点～北条交差点周辺 道路築造工事						
			北条交差点周辺 道路築造工事						
			橋りょう下部工（左岸）、盛土工事						
	国道153号飯田北改良（北側） 座光寺上郷道路～座光寺交差点付近		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
		座光寺横断歩道橋架設工事、県道拡幅工事							
座光寺上郷道路（上段） 県道飯島飯田線～フルーツライン		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転							
		埋文調査							
		橋りょう架設工事、函渠工事、道路築造工事、市道付替工事							
座光寺上郷道路（下段） フルーツライン～国道153号		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転							
		県道市場桜町線～国道153号 埋文調査							
		JRアンダーパス工事、道路築造工事、函渠工事							
県道市場桜町線（駅周～五郎田線）		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転							
		道路築造工事、橋りょう工事、箱型函渠工事							
県道市場桜町線（五郎田線以南）		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転							
		道路築造工事、市道付替工事							
飯田市	座光寺スマートIC接続道路		道路築造工事						

前年度（2024年度）の主な事業内容

1. リニア本線関係

◆ 中央アルプストーンネル（松川工区）



本線トンネル掘削を実施

◆ 風越山トンネル（黒田工区）



非常口トンネル掘削を実施

◆ 天竜川橋りょう



飯田市側橋脚躯体工事実施

◆ 駅部区間



土曾川橋りょうの橋脚基礎工事を実施
令和6年11月 竜西一貫水路付替え工事完了

2. リニア駅前広場整備

◆ 次世代インフラ、トータルデザイン、公民協働ブランドクリエイティブ各PJによる検討

◆ 飯田・リニア駅前広場プラットフォーム設立



キックオフフォーラムの様子

3. リニア関連道路整備

◆ 国道153号飯田北改良



新戸川函渠工事を実施

◆ 座光寺上郷道路



JR飯田線アンダーパス工事
函渠工事、盛土工事を実施

◆ 県道市場桜町線



土曾川護岸工事(上郷側)
飯沼南地区軽量盛土工・擁壁等
拡幅工事を実施

【問い合わせ先】

飯田市リニア推進部 リニア推進課
TEL：0265-22-4511（内線3322）

リニア関連事業の状況は、右記QRコードから
映像でご覧いただけます。

市ウェブサイトからご覧いただく際は、

ID115495にて検索ください。

